

## 4 OJTに取り組んで

### 成 果

#### ○ 学校組織で取り組む OJT

OJTを推進するにあたり、**意図的**、**計画的**、**継続的に取り組む必要性**がある。この点において学校のOJTの土壌作りが構築できたことは大きな成果があった。今後の継続的取り組みに大きな期待が持てるところである。

経験のないことを解決する手立てとして、先輩教員に広く教えを請い、個々の教員が主体的に自身の能力開発に着手していくことは、担い手としてのやりがいと**学校組織機能の充実**に繋がることが確認できた。

### 今後に向けて

- OJTを通して学びえた成果や課題について、**次年度へ継続できるよう OJT 研修計画**を作り生かせるようにしたい。
- また、個人の教育改善シートを基に、より力となった点や更に努力が必要な点について具体的に整理をして研修計画に反映したい。
- そして、**OJTにおける効果を学校全体で共有**することによって学校組織力の向上に繋げることができるように邁進していきたい。